

令和4年度

事業報告書

特定非営利活動法人がんサポートコミュニティ

1 事業の成果

(1) 心理社会的支援活動事業

(ア) サポート事業

同じような境遇にあるがん患者同士が出会い、語り合うことで不安や悩みを解消したり、“自分らしい”生き方を取り戻すことを目的として、男女区別なくがんが発症した患者のためのサポートグループや乳腺・子宮・卵巣といった女性特有の部位にがんが発症した患者のための女性サポートグループ、再発や転移を経験した患者のためのサポートグループ、さらに近年話題となっている就労しているがん患者を対象としたサポートグループを編成、さらに出張サポートグループとして柏市の協賛を得た柏サポートグループと大阪マラソンの寄附金による大阪サポートグループを企画し、看護師、社会福祉士及び臨床心理士といった専門家によってファシリテートされるグループ療法を提供した。各グループは月1～2回、年間113回開催し、延べ584人ものがん患者及び家族に対しグループ療法を提供した。サポートグループを開催するにあたり、参加者のマスク着用、入室時の検温とアルコール手指消毒の徹底、窓開けによる常時換気と空間清浄機の併用による感染症対策を講じ、開催時間を30分短縮、1回60分として提供した。

なお、Face-to-Faceでのサポートグループ参加に懸念を持たれる参加者のために、代替策として令和4年度からZoomを活用した「オンラインサポートグループ」を毎月2回、年間22回開催し、延べ54人に提供した。

(イ) 第4回とわの会：令和4年10月15日(土)に事務所においてサポート事業に参加していた患者が亡くなり、その遺族に対するプログラムとして第4回とわの会を開催し、4人が参加した。

(ウ) 医療相談事業

外科および緩和ケアを専門とする医師2人による医療相談を毎週水曜日に開催し、がん患者及び家族10人に対して対面／電話でアドバイスを行った。

(2) 技術的支援活動事業

(ア) リラクゼーション事業

がん患者及び家族を対象として、①自律訓練法講座を月2回、計13回開催、延べ19人が参加、②ヨガ講座を月2回、計19回開催、延べ102人が参加、③アロマセラピー講座を月1回、計6回開催、延べ22人が参加、④コーラス講座(いきのちから合唱団)を月2回、計24回開催、延べ397人が参加、3種の講座合計62回開催、延べ540人のがん患者及び家族に対し提供した。

(3) 普及啓発活動事業

(ア) 講演会

がん患者及び家族、市民に対し、がんに関する意識・知識の向上を目的とした第19回ペイシエント・アクティブ・フォーラムを録画収録し公式ホームページでオンデマンド無料配信する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で収録を断念し中止した。

(イ) 市民向けセミナー：第12回がんを学ぶセミナーTOKYO

関東圏在住のがん患者とそのご家族に対するがんに関する意識・知識の向上を目的にセミナーの開催を検討したが、新型コロナウイルス感染症の影響により実施しなかった。

(ウ) 市民向けセミナー：第4回がんを学ぶセミナーOSAKA

関西圏在住のがん患者とそのご家族に対するがんに関する意識・知識の向上を目的にセミナーの開催を検討したが、新型コロナウイルス感染症の影響により実施しなかった。

(エ) 令和4年度豊島区がん対策推進特別講演会&合唱団いきのちからコンサート2022

豊島区と小児がん対策国民会議と共催し、がん患者及び家族、市民に対し、がんに関する意識・知識の向上を目的とした豊島区主催の「令和4年度豊島区がん対策推進特別講演会」とがんサポートコミュニティ主催の「がん患者が歌う合唱団いきのちからコンサート2022」をジョイントさせ、令和4年12月19日(月)に南大塚ホール(東京)にて池袋保健所の指導のもと感染症対策を講じて開催、108人が参加した。令和4年度豊島区がん対策推進特別講演会では講師に国立がんセンター名誉総長・日本対がん協会会長・がんサポートコミュニティ会長・垣添忠生氏に「がん検診のメリット・デメリット」をテーマに講演いただいた。合唱団いきのちからコンサート2022ではがん体験者24人がソプラノ/アルト/テノール/バスに分かれ、小さな四季/God be in my head/For the beauty of the earth/春に/Joy to the world～もろびとこぞりて/あら野のはてに/Panis Angelicusの全7曲を合唱した。加えてイベントを録画収録し公式ホームページでオンデマンド無料配信予定である。

(オ) 教育研修事業

将来サポート事業ならびに地域におけるサポート活動を担う人材育成のために、「ファシリテーター研修プログラム」を開発し、エーザイ株式会社との共催により令和5年1月21日(土)～22日(日)にエーザイ東京コミュニケーションオフィス(東京)で実施され、聴講生9人、ファシリテーター11人が参加した。

(カ) 大阪マラソン

ランナーがそれぞれ選択したテーマに500円ずつ寄付するチャリティマラソンとして令和5年2月26日(日)に大阪マラソン2023として開催され、チャリティランナー13人が参加した。2月24日(金)～25日(土)にインテック大阪で開催されたEXPO2022では、ランナー3万人に対する「がんにならない、がんになっても自分らしく生きる社会」をめざした、がん検診受診と大阪サポートグループの認知向上の普及啓発活動を実施した。

(キ) 説明会

がん患者及び家族に対して、がんサポートコミュニティの活動事業を紹介するために毎週金曜日に開催した。19回開催し、25組が参加した。

(ク) がんサポ通信

がん患者及び家族、市民に対して、がんサポートコミュニティの活動事業を紹介するために年2回発行、1回あたり2,000部を配布予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響でがん患者とその家族との交流機会と情報発信の頻度を高くするためにNews Letterとして毎月1回発行、配布した。

(4) 調査研究及び情報交換事業

(ア) がん対策総合機構

患者・市民参画に関するワーキンググループと医療情報提供に関するワーキンググループを設置し、医療者、患者団体リーダー、政策研究者及び関連企業と協働し、より良いがん医療環境のために議論した。

(イ) その他

第一三共と劇団四季が主催する「家族のきずなシアター」に後援し、がん患者及び家族 125 組 500 人を招待し劇団四季ミュージカル「ライオンキング」を令和 4 年 10 月 16 日（日）に有明四季劇場（東京）にて観劇予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止を決定した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 23,820 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
心理社会的支援活動事業	サポート事業:患者及び家族に対して部位別・状況別の各種サポートグループを新型コロナウイルス感染症対策で時短して毎月1~2回運営。	日曜祝祭日を除く 毎日	事務所	11人	がん患者・家族	584人	11,119
	新型コロナウイルス感染症対策として Zoom を活用した「オンラインサポートグループ」を実施。	毎月1回	事務所	6人	がん患者	54人	
	患者交流事業:がん患者の遺族と交流する「とわの会」は新型コロナウイルス感染症の影響で中止。	10月15日	事務所	6人	遺族	4人	
	医療相談事業:患者及び家族に対し複数の医師による医療相談を希望に応じて対面/電話で実施。	原則として水曜日	事務所	2人	がん患者・家族	10人	
	その他:患者及び家族に対し家族の絆を深める「家族のきずなシアター」は新型コロナウイルス感染症の影響で中止。	10月16日	有明四季劇場	0人	がん患者・家族	0人	
技術的支援活動事業	リラクゼーション事業:患者及び家族に対するヨーガの指導は新型コロナウイルス感染症対策のため人数制限して実施。	原則第1・3木曜日	事務所	1人	がん患者・家族、市民	102人	2,805
	リラクゼーション事業:患者及び家族に対するアロマセラピーの指導は新型コロナウイルス感染症の影響で中止。	原則第3金曜日	事務所	1人	がん患者・家族、市民	22人	
	リラクゼーション事業:患者及び家族に対する自律訓練法は新型コロナウイルス感染症対策を講じて指導を実施。	原則第1・2火曜日	事務所	1人	がん患者・家族、市民	19人	

技術的 支援活動事業	リラクゼーション事業:患者及び家族に対するコーラスの指導は新型コロナウイルス感染症対策のため人数制限して実施。	原則 第1・3 月曜日	南大塚地域 文化創造館	4人	がん患者 ・家族	397人	
普及啓発 活動事業	市民啓発を目的とした講演会「第19回ペイシェント・アクティブ・フォーラム」は新型コロナウイルス感染症の影響で中止。		配信	0人	がんに関 心のある 一般市民	0人	5,246
	市民啓発を目的とした「第12回がんを学ぶセミナーTOKYO」を新型コロナウイルス感染症の影響で中止。		事務所	0人	関東圏の がん患者 ・家族、 市民	0人	
	市民啓発を目的とした「第4回がんを学ぶセミナーOSAKA」を新型コロナウイルス感染症の影響で中止。		TSURUYA ホール	0人	関西圏の がん患者 ・家族、 市民	0人	
	「令和4年度豊島区がん対策推進特別講演会&合唱団いきのちからコンサート」を新型コロナウイルス感染症対策のため人数制限して開催。	12月19日	南大塚ホール	12人	がん患者 ・家族、 市民	108人	
	「令和4年度豊島区がん対策推進特別講演会&合唱団いきのちからコンサート」をオンデマンド無料配信。	オンデマンド 配信	事務所	4人	がん患者 ・家族、 市民	500人	
	関東圏の専門家を対象に後進の育成を目的とした「ファシリテーター研修」を実施。	1月8日 ~9日	エーザイ 東京コミュニ ケーション オフィス	5人	関東圏の がん専門 相談員	9人	
	広く市民に対するがん啓発を目的とした「大阪マラソンEXPO」に参画。	2月25日 ~26日	インテックス 大阪	0人	市民	30,000人	
	がん患者及び家族に対して活動紹介を目的とした「説明会」を開催。	原則とし て金曜日	事務所	4人	がん患者 ・家族	25人	
	広く市民に対する活動紹介として「がんサポ通信」発行は新型コロナウイルス感染症の影響で中止、「News Letter」を発行。	毎月1日	事務所	10人	がん患者 ・家族、 市民	4,000人	
	広く市民に対するがん啓発を目的とした「がん患者支援アプリCAN.」を開発、運営。	随時	事務所	3人	がん患者 ・家族、 市民	1,300人	

普及啓発活動事業	がん患者及び家族に対して関係図書を頒布。	随時	事務所	2人	がん患者・家族	300人	
調査研究及び情報交換事業	患者・市民参画や医療情報に関するワーキンググループとして政策に係る調査。	4月1日 ~3月1日	事務所	11人	がん患者・家族、市民	1,000人	4,650

(2) その他の事業

(事業費の総費用【 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費(千円)
	該当なし				